

CONCEPT | コンセプト

接点を生み出し・育てるローカルプラットフォーム

みなと土曜市が目指すものは、日常の延長線上にある交流の場です。

これまで開催された定期市の趣旨を引き継ぎ、地元商店・各種団体などと連携しながら、買い物だけでなく、交流や日常のなかでの賑わいづくりの充実を目指していきます。

また、定期市をきっかけにチャレンジしたい出店者／活動している人々を受け入れ、これからのまちの活性化に取り組むであろう担い手を発掘していく。「まちで楽しむ、まちを楽しむ」をテーマに地域の方との交流を深めるなど、出店者やボランティアの継続的な関わりを作っていく場も開いていきたいと考えています。

暮らす人も訪れる人も交じり合いながら接点を作っていける場
＝プラットフォーム(基盤)が街にあることで、地域に関わりたい・何かにチャレンジしたいと考える人材を発掘していきます。



POINT | ポイント

【(1) 定期市を通じたコミュニケーションの活性化、(2) 地域商店街の振興、(3) 地域の空き家対策、(4) 地域への新たな人材の取り込み】の視点を重視したまちづくりを目指していくために下記の3点をポイントに取り組みます

1. 「この街ならではの」なマーケットの在り方

多種多様なマーケット・マルシェが存在する中で「まちづくり」を特色とし、差別化をはかります。全国からチャレンジが集まってできた港のあり方を引き継ぎ、チャレンジを迎え入れ現代の港のまちづくりを目指します。

2. 移住促進を見据えた、関係人口の創出

出店者はもちろんのこと、運営や企画に関わる方、まちづくりに関心を持つ方など、マーケットをきっかけに、まちのファン作りを目指します。

3. 新しい取り組みが生まれていくための継続的な土壌作り

地域の魅力発信や、マーケット以外での交流の場作りなど、まちとの結びつきをデザインしていきます。またみなと土曜日全体で、チャレンジを迎え入れることを明言し、地域で何かを始めたい人が相談できる窓口としての機能も作ります。

企画内容① / 月一回の定期市 11月～3月(計5回)

西築地学区連絡協議会、築地口商店街、地元の各種団体等と連携し、定期市として「みなと土曜日」を開催する。

日用品、食べ物、雑貨などが購入できる月1回の定期市を実施します。定期市の中では買い物消費のみを目的にせず、交流や地域の魅力発見等を目的とした企画も点在させていきます。
また、毎月テーマを決めて同日に行っているポットラックビル等で行われる展示やイベントにも接続していく導線づくりを目指します。

会場候補：江川線歩道スペース
築地口商店街の路上
港橋広場公園など
店舗をお借りする 等

出店料に関しては出店者側に責任感をもってもらうなどの意味合いもあるため、1回あたり2,000円～2,500円程度を徴収する予定。
規模が大きくなっていく場合は金額を上げることも検討しております。
主にボランティアの運営費用に当てさせていただきます。



企画内容① / 月一回の定期市 11月～3月(計5回)

商店街エリア・江川線エリアの使い方イメージ

江川線エリア・港橋の使い方



商店街エリアの使い方



企画内容② / サポート企画2回以上

サポート企画1

空き家を使ってチャレンジしたい人たちへのサポート体制の拡充

イベント

空き家をテーマにしたトークイベントの開催

支援制度の拡充

同時に、マーケットをきっかけに地域に関心を持つ出店者やこのまちで何かを始めたいと考えている方に向けて、各土曜市のなかで相談ができる窓口を設置。

そのほかでも常時相談を受け入れることで、この地域で活動を開始する人たちが抱える最初の不安を軽減していくための支援体制を整えていく。同時に空き家を持つ方々の不安も収集していく。

補足

将来的には集まった借り手情報を地域と共有していくことで、大家さんから声かけができる状況を作っていくことを目指します。空き家に関しては長期での対応が想定されるため、港まちづくり協議会事務局の方々と連携した動きを行なっていく必要があると考えています。

企画内容② / サポート企画2回以上

サポート企画2

企業・団体を対象にしたイベント企画

イベント

「(仮)はたらく港まち」

港区周辺の企業を対象に、港のまちづくりや地域貢献に関心のある企業の方々がマーケットをきっかけに小さな共創関係を作り、それぞれのアイデアが街に貢献されていくチャレンジの場をひらきます。

地元企業や団体との関係作りを行い、将来的なまちづくりの担い手創出を目指します。

開催時期:3月の第二土曜日を予定、土曜日の中でのイベントとして実施